

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

平成23年度には、平成22年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、県内で1,480事業所から届出がありました。

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物質種類数	業種名	届出事業所数	届出物質種類数
食料品製造業	10	11	電気業	9	8
飲料・たばこ・飼料製造業	3	4	ガス業	1	2
衣服・その他の繊維製品製造業	1	4	下水道業	40	31
家具・装備品製造業	3	10	鉄道業	1	1
パルプ・紙・紙加工品製造業	11	8	倉庫業	9	21
出版・印刷・同関連産業	11	15	石油卸売業	13	8
化学工業	147	197	鉄スクラップ卸売業	1	1
石油製品・石炭製品製造業	17	42	燃料小売業	658	9
プラスチック製品製造業	43	57	洗濯業	14	5
ゴム製品製造業	8	48	自動車整備業	23	6
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	1	機械修理業	3	4
窯業・土石製品製造業	17	20	商品検査業	2	4
鉄鋼業	11	24	計量証明業	3	3
非鉄金属製造業	25	32	一般廃棄物処理業（ごみ処分業に限る。）	47	34
金属製品製造業	84	37	産業廃棄物処分業	22	35
一般機械器具製造業	41	30	医療業	4	3
電気機械器具製造業	60	35	高等教育機関	10	9
輸送用機械器具製造業	89	42	自然科学研究所	26	20
精密機械器具製造業	6	9			
武器製造業	1	1	合計	1,480	224
その他の製造業	5	6			

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	445	逗子市	2	綾瀬市	33	開成町	6
川崎市	203	三浦市	5	葉山町	5	箱根町	10
相模原市	114	秦野市	45	寒川町	22	真鶴町	—
横須賀市	62	厚木市	68	大磯町	5	湯河原町	1
平塚市	92	大和市	50	二宮町	1	愛川町	25
鎌倉市	29	伊勢原市	32	中井町	5	清川村	1
藤沢市	68	海老名市	24	大井町	8		
小田原市	47	座間市	23	松田町	1	合計	1,480
茅ヶ崎市	28	南足柄市	14	山北町	6		

※ 真鶴町では届出がありませんでした。

(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった排出量・移動量全体は、総届出排出量・移動量 16,290 トンであり、その内訳は、総届出排出量 7,786 トン、総届出移動量 8,503 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 7,461 トン、公共用水域への排出 325 トン、土壌への排出 0.004 トンでした。なお、事業所内での埋立処分はありませんでした。

また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 8,426 トン、下水道への移動 77 トンでした。

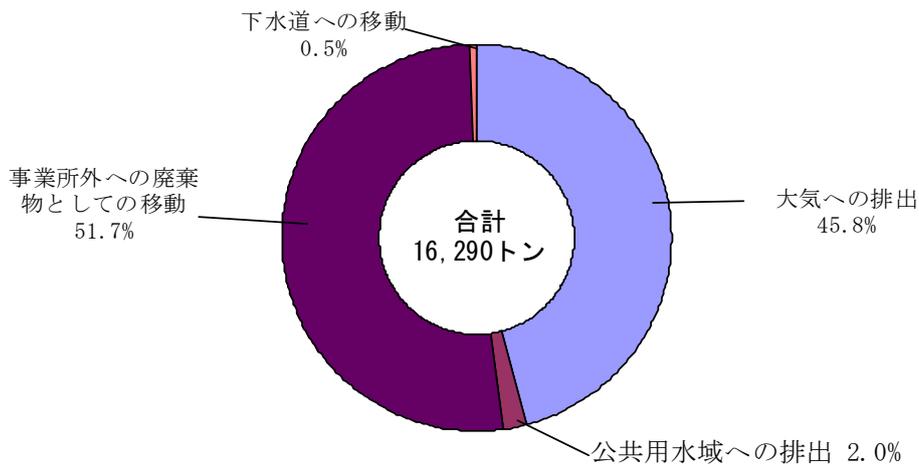


図1 総届出排出量・移動量

イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の多い上位 10 物質の合計は 11,911 トンで、総届出排出量・移動量 16,290 トンの 73.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

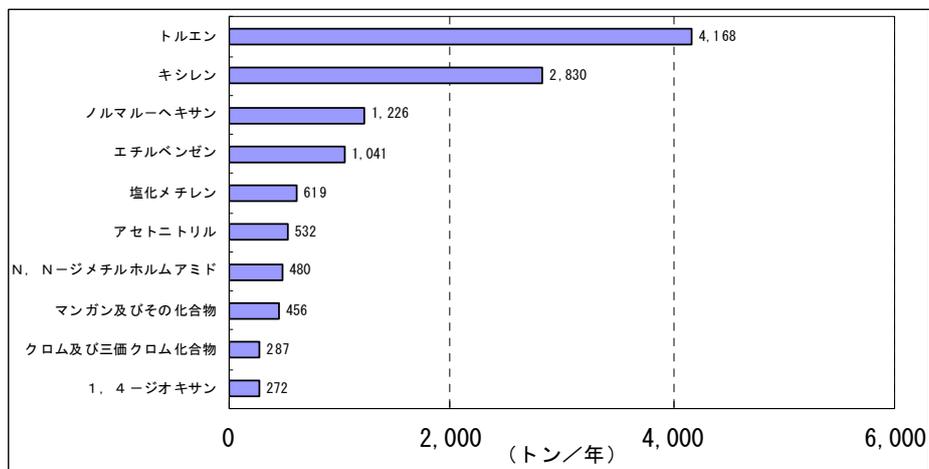


図2 届出排出量・移動量上位 10 物質

ウ 届出排出量の状況

届出排出量の多い上位 10 物質の合計は 7,029 トンで、総届出排出量 7,786 トンの 90.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

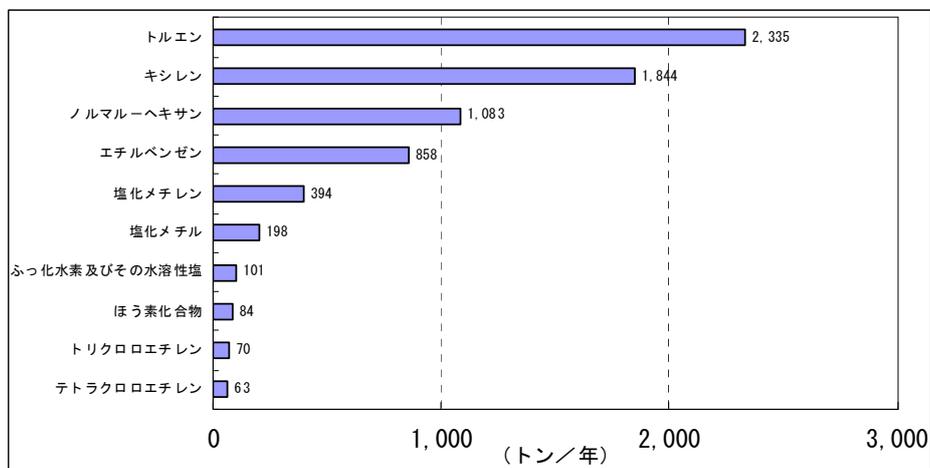


図 3 届出排出量上位 10 物質

エ 届出移動量の状況

届出移動量の多い上位 10 物質の合計は 5,473 トンで、総届出移動量 8,503 トンの 64.4%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

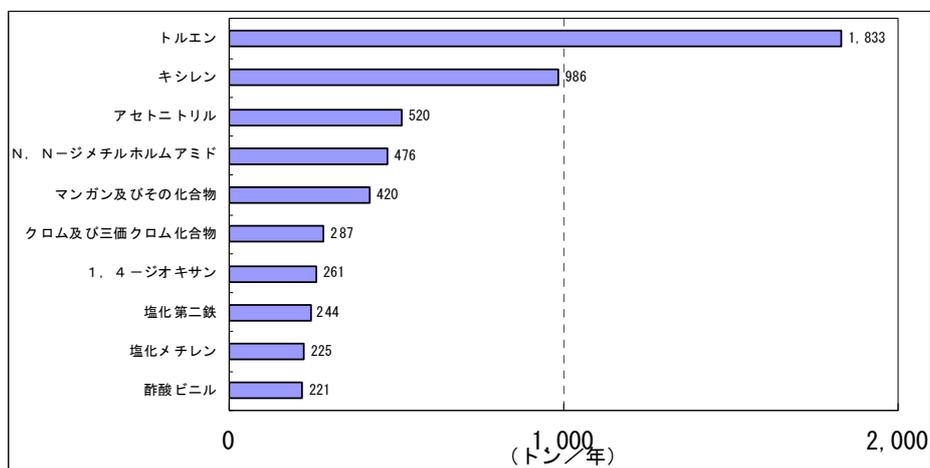


図 4 届出移動量上位 10 物質

オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(ア) 大気への排出状況

大気への排出量の多い上位 10 物質の合計は 6,949 トンで、大気への排出量全体 7,461 トンの 93.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

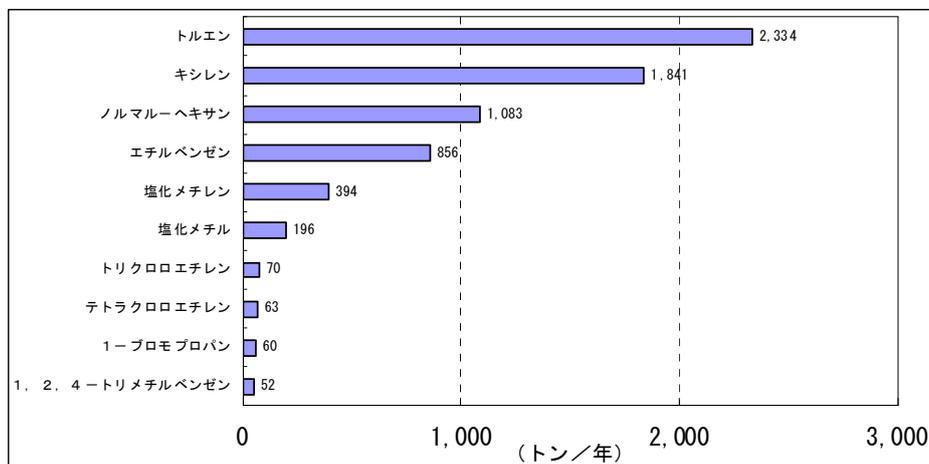


図5 大気への排出量上位10物質

(イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質の合計は 304 トンで、公共用水域への排出量全体 325 トンの 93.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

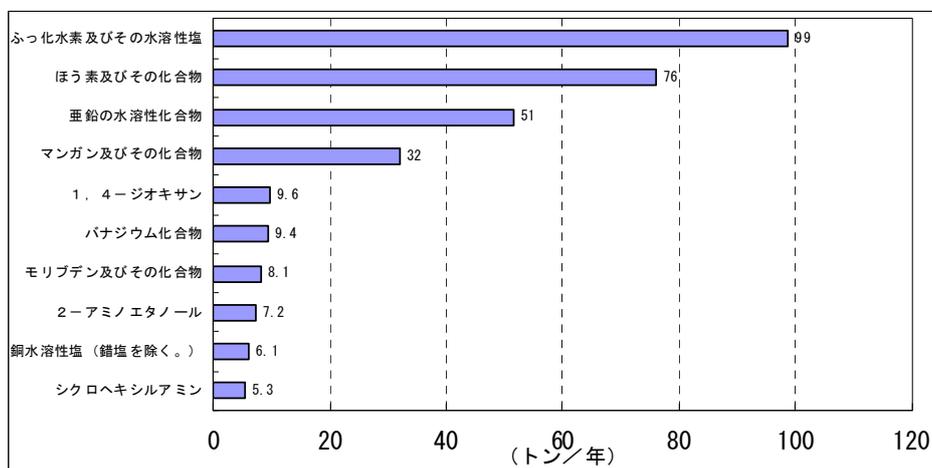


図6 公共用水域への排出量上位10物質

(ウ) 土壌への排出状況

土壌への排出を行ったという届出があったのは、クロム及び三価クロム化合物、マンガン及びその化合物、ニッケルであり、排出の量は 0.004 トンでした。

(エ) 事業所における埋立処分の状況

平成 22 年度は、事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の多い上位 10 物質の合計は 5,451 トンで、廃棄物としての移動量全体 8,426 トンの 64.7%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

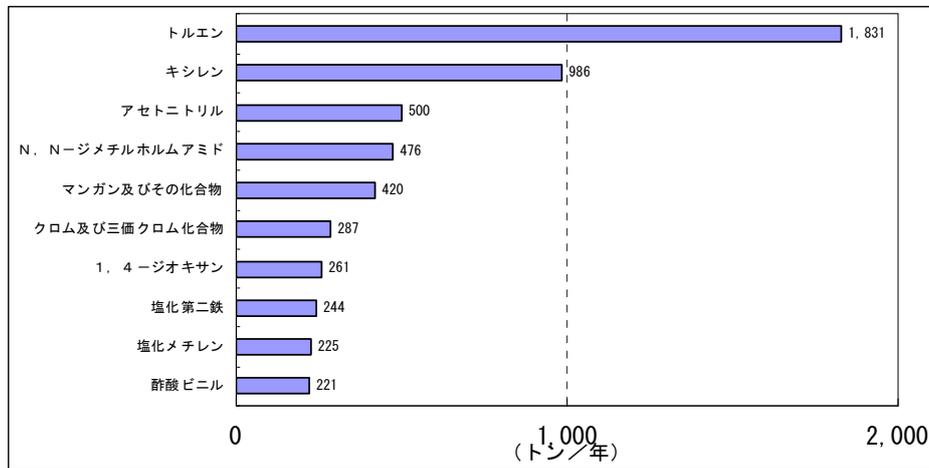


図 7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の多い上位 10 物質の合計は 69 トンで、下水道への移動量全体 77 トンの 89.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

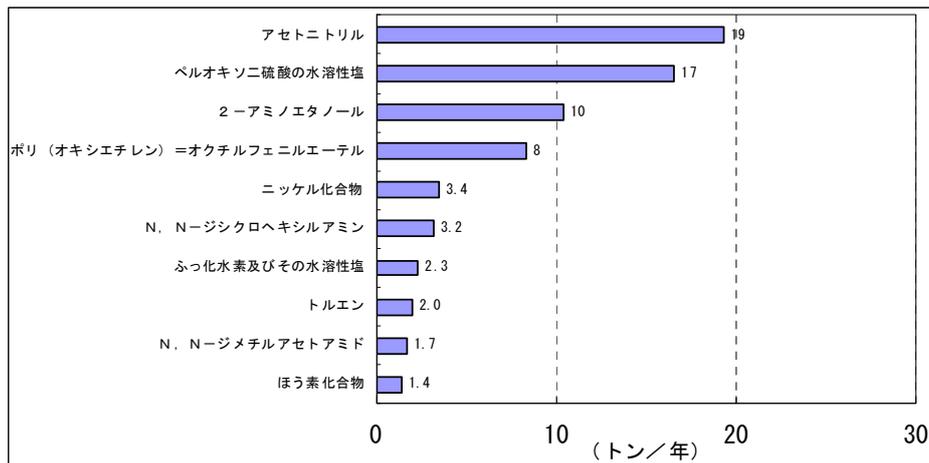


図 8 下水道への移動量上位 10 物質

キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

(7) 届出排出量・移動量

製造業からの届出排出量・移動量の合計は 15,704 トンで、総届出排出量・移動量 16,290 トンの 96.4% を占めます。

また、届出排出量・移動量の多い上位 10 業種の合計は 14,675 トンで、総届出排出量・移動量の 90.1% に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

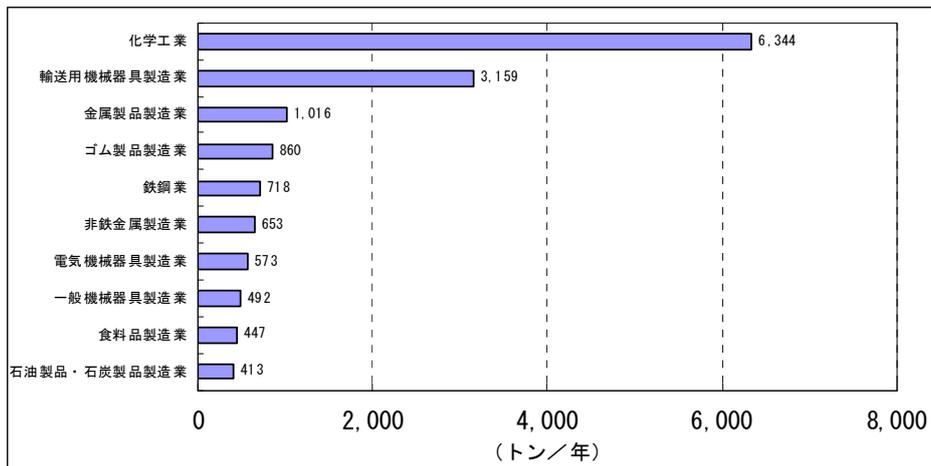


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

(イ) 届出排出量

製造業からの届出排出量の合計は 7,398 トンで、総届出排出量 7,786 トンの 95.0% を占めます。

また、届出排出量の多い上位 10 業種の合計は 7,088 トンで、総届出排出量の 91.0% に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

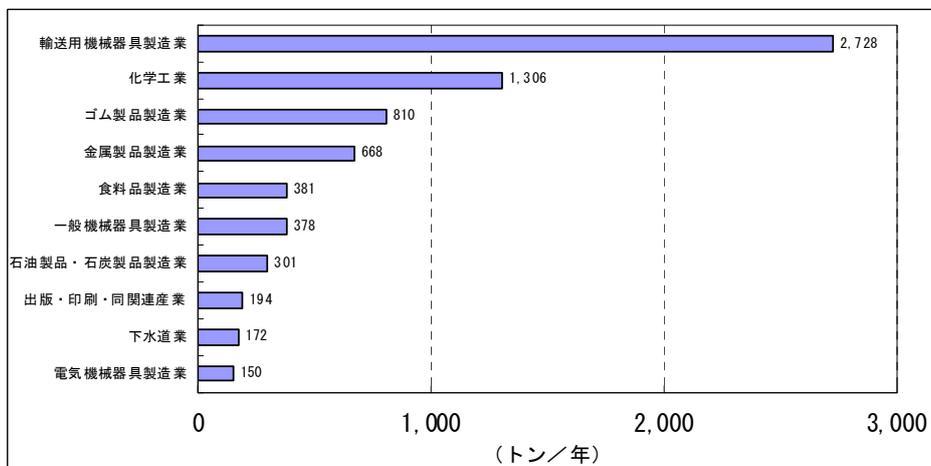


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

製造業からの届出移動量の合計は 8,305 トンで、総届出移動量 8,503 トンの 97.7%を占めます。

また、届出移動量の多い上位 10 業種の合計は 8,025 トンで、総届出移動量の 94.4%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

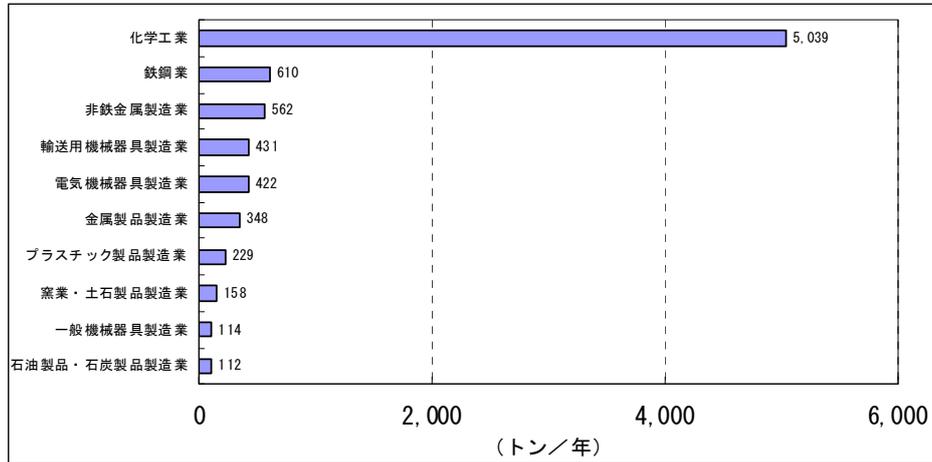


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	19,400	0	19,400	19,400
エチレンオキシド	19,589	0	0	0	19,589	0	0	0	19,589
カドミウム及びその化合物	0	9	0	0	9	66	0	66	75
六価クロム化合物	2	30	0	0	32	49,535	98	49,633	49,665
塩化ビニル	17,400	54	0	0	17,454	0	0	0	17,454
鉛化合物	111	208	0	0	319	15,851	1	15,852	16,171
ニッケル化合物	668	1,570	0	0	2,238	117,225	3,447	120,671	122,909
砒素及びその無機化合物	7	232	0	0	239	530	0	530	769
1, 3-ブタジエン	41,664	430	0	0	42,094	469	0	469	42,563
2-ブロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	38,066	365	0	0	38,431	1,731	0	1,731	40,162
ホルムアルデヒド	12,111	355	0	0	12,466	82,078	126	82,204	94,670
ダイオキシン類	2,906	96	0	730	3,732	98,016	2	98,018	101,750
合計	129,617	3,254	0	0	132,871	286,885	3,671	290,556	423,427